

令和 8 年 地域井戸端会 市民意見に基づく請願

基幹

請願書⑤ 機関産業の持続と若手担い手育成、深刻な鳥獣被害対策に関する請願

令和 8 年 6 月 2 日

浜田市議会議長 様

紹介議員:森谷 公昭

請願者:株式会社コムサグリ 浜田市相生町 3773-1

基幹

【請願趣旨】本市の機関産業である農林水産業は、高齢化と後継者不足により危機的状況にあります。

耕作放棄地の増加や無計画な山林伐採は、イノシシやシカ等の深刻な鳥獣被害の温床となっており、「夜歩くのも怖い」という声も上がっています。また、アユやワタリガニ、素巻きといった 100 年先に残したい食文化の継承も危ぶまれています。

市木(市木まちづくりセンター)、都川(都川まちづくりセンター)、井野(井野まちづくりセンター)、周布(周布まちづくりセンター)、弥栄(弥栄多目的研修集会施設/弥栄会館)、子育てセンター(子育て世代包括支援センター)、今市(旭公園市民体育館/今市まちづくりセンター)等の井戸端会議でも担い手育成や環境保全を求める声が上がったため、以下の事項を請願いたします。

【請願事項】

1. 看護師支援と同様に、水産高校卒業生に対する「奨学金制度及び免除制度」や、農業の若手担い手に対する大胆な直接支援策を創設すること。
2. イノシシやシカ等の出没を防ぐため、遊休農地のマッチング制度を構築し、実効性のある強力な鳥獣被害対策を徹底すること。
3. 中学校の家庭科室などの施設を市民に柔軟に開放し、地域固有の郷土料理や食文化を次世代に伝承できる環境を整備すること。

